



熊本信用金庫の大型パネルのデザインを手掛けた大西崇仁さん(左)とモデルの下城愛さん

19日、熊本市

熊本信用金庫は19日までに、熊本市中央区の本店に設けた大型パネルを、崇城大の学生による新デザインに刷新した。熊本地震からの復興へ笑顔で取り組んでいきたいというメッセージが込められている。

パネルは縦3・6メートル、横4メートル。電車通り沿いに掲げ、約1年ごとに更新している。今回は、同信金が連携協定を結ぶ崇城大などのつながりを生かし、同大芸術学部3年の大西崇仁さん(20)に制作を依頼した。

パネルは、同信金職員

復興への思い 学生が表現

熊本信金 本店パネル刷新

による「ス」「マ」「イ」「ル」「!!」の人工文字写真と、熊本大3年の下城愛さん(20)をモデルにした写真を組み合わせた。

この日、パネルの前で記念撮影した大西さんは「下城さんが笑顔になる前と後の写真でストーリー性を持たせた」と説明。下城さんは「街の風景になじんでくれたらうれしい」と語った。同信金の担当者は「復興への思いをつまかく表現してくれた。職員にも好評」と笑顔を見せた。

(辻尚宏)